

事業番号	02 07 05	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	移住・交流推進事業費					担当課	企画振興部 課・局・室 地域振興課楽園信州・移住推進室 E-mail shinko@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト	6-2-1「誇りある暮らしの実現」、7-3-0「活動人口増加」、5-2-4「雇用・社会参加促進プロジェクト」、1-3-5「次世代産業創出」					実施期間	H15 ~
	施策の総合的展開	2-1魅力ある地域の創造と発信、5移住・交流の推進、1-6職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり、2雇用の促進						
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	1 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造 2 若者のライフデザインの希望実現 6 大都市・海外との未来志向の連携						
	施策展開	2-(1)多様な人材の定着(ア)相談から定着までの一貫支援 (イ)多様なライフスタイルの展開 4-(1)確かな暮らしを支える地域構造の構築(イ)既存資産のマネジメント強化						

1 事業の概要

目指す姿	○大都市からの移住、「週末信州暮らし」を促進し、移住・交流人口の拡大を図り、地域の活力を創出する。 ○Iターン就職を促進し、Iターン希望者の職業紹介及び県内企業の人材確保を図り、地域の活性化に資する。 【目標】行政サポートによる移住者、Iターン就職者：396人(H22実績) ⇒ 763人(H26実績) ⇒ 1,000人(H29目標)	
現状(予算編成時)	○長野県は「移住したい県No.1」(①「田舎暮らしの本」読者アンケート9年連続 ②総務省(移住・交流情報ガーデン来場者アンケート) ③JOIN((一社)移住・交流推進機構 ネットアンケート) ○移住定住に取り組む市町村・民間団体は増加(「市町村の受入体制は長野県が一番」(ふるさと回帰支援センター代表理事)) ○30歳以下、特に女性の大幅な社会減(20~30歳 男性△561 女性△1,307、10~20歳 男性△866 女性△695) ○「長野県移住・交流推進戦略(H24.3.16)」に基づき、三大都市圏へ相談窓口を開設、官民協働の「田舎暮らし『楽園信州』推進協議会」が移住セミナーを開催、移住専門誌等で情報発信。 ○楽園信州空き家バンク開設、専従相談員配置(東京、名古屋、大阪)により情報提供及び相談体制を強化。 ○田舎暮らし「楽園信州」協議会を機能強化し、ターゲットを絞り込んだ戦略的な施策展開が必要。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施： 実施中	【左記の説明、根拠法令等】 広域自治体である県が、市町村、民間団体との役割分担のもと、連携して実施することが効果的な事業である。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)			
	人口の社会増を目指す。 行政サポートによる移住者数 (H28目標900人、うちIターン就職者数75人) ⇒ H29目標1,000人 根拠:長野県移住交流推進戦略、しあわせ信州創造プラン(Iターン就職者数は長野労働局との協議により毎年度設定)			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28実施内容	H28 (補正前) (6月補正) (補正後)
	ライフスタイルデザイン国際会議の開催	委託	国際的な視点でこれからの自分らしい生き方や暮らし方を国内外へ提案発信するライフデザイン国際会議を開催	0 0 0
	「移住コンシェルジュ」の登録	直接	市町村と連携し「移住コンシェルジュ」を登録、移住者が地域に溶込むための相談に応じるなど移住後をフォロー	130 0 130
	信州暮らし案内人の配置	直接	長野県への移住に係る相談や総合的な窓口として県庁に信州暮らし案内人を配置	3,210 0 3,210
	楽園信州移住相談センター整備事業	直接	広域へ「楽園信州移住相談センター」を整備し移住先決定までサポート。都市圏へ移住推進員を配置	0 0 0
	ふるさと回帰支援センターとの連携事業	委託	【東京】へ資料ブース設置、相談員配置、事務所開設 【大阪】へ資料ブース設置、出張相談の実施	14,279 0 14,279
	Iターン促進事業	委託	Iターン登録(人材登録)の運用、Iターン信州(HIP)の運用。就業相談、転職セミナー、個別面談の実施	8,939 0 8,939
しあわせ信州なでしこ移住カフェ開催事業	委託	子育て世代女性を対象にしたセミナーやツアーの開催。女子学生に向けた就業体験機会等の創出	4,140 0 4,140	
中央日本四県共同イベント	負担金	中央日本四県が連携して、それぞれのライフスタイルの魅力をアピールし、移住や二地域居住を推奨する共同イベントを首都圏で開催	0 0 0	
いいね! 地方の暮らしフェア	負担金	「日本創生のための将来世代応援知事同盟」13県が合同移住フェアを開催し、若い世代に地方暮らしの魅力を発信	0 0 0	
信州暮らし提案書によるPR	委託	長野県で生活した場合の可処分所得や余暇時間等を推計で示す「信州暮らし提案書」を作成して情報発信することによりUターンへつなげる	0 5,139 5,139	
田舎暮らし「楽園信州」推進協議会における官民連携の取組	負担金	市町村と連携したセミナー、アカデミーの開催、応援企業等受入れ体制の充実、移住ポータルサイトによる情報発信等	5,120 0 5,120	
合計			35,818 5,139 40,957	

事業	区分(単位:千円)		26年度	27年度	28補正後
	予算額	前年度繰越		30,767	61,559
		当初予算	20,876	8,238	35,818
		補正予算	30,767	69,624	5,139
		合計(A)	51,643	108,629	102,516
	コスト	一般財源	20,833	2,439	78,754
		県債			
		国庫支出金	30,767	102,891	23,751
		その他	43	3,299	11
	決算額(B)		20,784	40,750	
概算人員費	職員数(人)	3.00	3.00	5.00	
概算人員費(C)	24,774	24,774	41,290		
概算事業費(B(A)+C)		45,558	65,524	143,806	

成果目標の達成状況					
項目	H26末	H27末	H28		H29目標
			目標	成果	
行政サポートによる移住者数(人)	763	927	900		
Iターン就職者数(人)	68	88	75		
移住者数(人)	2,000	1,386	2,300		
移住相談件数(件)	6,572	7,547	7,558		
楽園信州空き家バンク物件登録件数(件)	0	420	600		
週末信州人等登録者数(人)	0	0	50		

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------